

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

1. 実施した計画の基本的な事項

(1) 基礎情報

ア. 対象地域

構成市町村等名	八千代町						
地域内総人口（人）	20,817						
地域総面積（km ² ）	58.99 k m ²						
地域の要件	その他（詳細は下記）						
地域の要件がその他の場合は具体的に記載	八千代町の総面積58.99km ² のうち、下水道及び農業集落排水の整備計画面積の合計は13.31km ² であり、残りの45.68km ² の汚水処理未普及解消の必要性があるため。						
構成市町村に一部事務組合等が含まれている場合、当該組合の状況							
組合名称（設立年月日）							
組合を構成する市町村							

イ. 計画実施期間

開始年月日	令和2年4月1日
終了年月日	令和7年3月31日
計画期間	5年

(2) 対象地域における取組みに関する事項

ア. ごみ処理の広域化・施設の集約化の実施状況

確認した都道府県の 広域化・集約化計画の名称	

イ. プラスチック資源の分別収集及び再商品化に係る実施内容

実施済の場合	実施地域	
	実施年度	
	実施方法	
	上記が④もしくは⑤の 場合、その詳細	
実施しない地域		
プラ要件化対象事業の実施		
備考		

ウ. 対象地域における一般廃棄物処理有料化の実施状況

有料化導入状況	
上記が④の場合、その詳細	
未導入の構成市町村名	
有料化導入に向けた検討状況 ※全ての構成市町村で導入済の場合は記載不要	

エ. 対象地域における災害廃棄物処理計画の策定状況

策定状況	
策定済の構成市（計画の名称）	
未策定の構成市（策定予定時期）	
備考	

2 目標の達成状況

(一般廃棄物の処理)

減量化、再生利用に関する指標		現状	目標	実績	
		令和□□年度	令和7年度	令和▲▲年度	実績/目標
①総人口（人）					
排出量	事業系ごみ排出量（トン）				0%
	生活系ごみ排出量（トン）				0%
	1人1日当たりのごみ排出量（g/人日）	0	0	0	0%
	その他排出量（集団回収等）				0%
	総排出量（トン）	0	0	0	0%
	1人1日当たりの排出量（g/人日）	0	0	0	0%
再生利用量		総資源化量（トン）			0%

	総排出量に占める総資源化量の割合（％）	0	0	0	
最終処分量	埋立最終処分量（トン）				0%
	総排出量に占める埋立最終処分量の割合（％）	0	0	0	
エネルギー回収量	年間の発電電力量（MWH）				
	年間の熱利用量（GJ）				
特記事項					

※ 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、（実績の割合-現状の割合）/（目標の割合-現状の割合）を記載。

(生活排水の処理)		平成30年度現状		令和7年度目標		令和7年度実績	
生活排水処理に関する指標		人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
処理形態別人口	公共下水道	3,587人	16.2%	5,145人	24.0%	4,203人	20.2%
	農業集落排水施設等	5,373人	24.3%	6,518人	30.4%	4,924人	23.7%
	合併処理浄化槽等	5,123人	23.1%	6,279人	29.3%	5,316人	25.5%
	小計：汚水衛生処理人口	14,083人	63.6%	17,942人	83.7%	14,443人	69.4%
	単独処理浄化槽等	6,487人	29.3%	3,488人	16.3%	5,115人	24.6%
	非水洗化人口	1,582人	7.1%		0.0%	1,259人	6.1%
	小計：未処理人口	8,069人	36.4%	3,488人	16.3%	6,374人	30.6%
合計：総人口		22,152人	100.0%	21,430人	100.0%	20,817人	100.0%
し尿・汚泥の量	汲取りし尿量	744キロリットル		418キロリットル		638キロリットル	
	浄化槽汚泥量	6,464キロリットル		6,217キロリットル		6,453キロリットル	
	合計	7,207キロリットル		6,635キロリットル		7,092キロリットル	

3 目標達成に向けた施策状況

目標指標	目標達成への施策状況
ア．一般廃棄物の排出量に関する事項	
イ．一般廃棄物の再生利用量に関する事項	
ウ．一般廃棄物の最終処分量に関する事項	
エ．一般廃棄物のエネルギー回収量に関する事項	
オ．処理形態別人口に関する事項	・公共下水道受益者負担金を一括納付した方への報奨金制度 ・合併浄化槽補助金などの助成制度を実施
カ．し尿・汚泥の量に関する事項	
その他	

4 目標の達成状況に関する評価

八千代町は農業従事者が多く、外国人研修生が多く存在する。研修生は雇い主宅に居住する場合が多く、汚水処理を雇い主宅と一緒に適切に処理しているにもかかわらず不明確であり、また総人口に含まれているため非水洗化人口があまり解消されない結果となった。 また、増加する外国人とは相対的に日本人は減少し、そこに居住していた高齢者は亡くなるなどして空き家が増えている実情があり、農業集落排水処理人口はかえって減少してしまう結果となった。

(都道府県知事の所見)

生活排水処理状況については、処理施設整備事業全体として平成30年度比で処理人口は微増し、汚水処理未処理人口は減少しているものの、いずれも目標未達成という結果となった。 町内の外国人研修生に係る事情等により、統計上非水洗化人口が解消されにくい実情については、次期計画以降の目標設定や見直しに反映されたい。 次期計画においては、実態に即して修正した処理人口目標等の数値に基づき生活排水対策に取り組むとともに、より正確な事後評価に努められたい。

※令和6年3月31日までに承認された地域計画については、なお従前の様式にて提出できるものとする。